

美濃市 個別の教育支援計画・指導計画

小学校名	小学校	平成	年	月	日	入学
中学校名	中学校	平成	年	月	日	入学

氏 名		性別	男 ・ 女
生年月日			
保護者氏名			

年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
学年	小学校 1 年	小学校 2 年	小学校 3 年	小学校 4 年	小学校 5 年	小学校 6 年
学級						
通級指導教室						
担当者氏名						
校長氏名						
認印						
記入者氏名						
認印						
支援内容に関する 保護者の同意印						
引き継ぎに関する 保護者の同意印						

年度	年度	年度	年度
学年	中学校 1 年	中学校 2 年	中学校 3 年
学級			
通級指導教室			
担当者氏名			
校長氏名			
認印			
記入者氏名			
認印			
支援内容に関する 保護者の同意印			
引き継ぎに関する 保護者の同意印			

美濃市 個別の教育支援計画・指導計画

記入例

小学校名	小学校	平成	年	月	日	入学
中学校名	中学校	平成	年	月	日	入学

氏 名		性別	男 ・ 女
生年月日			
保護者氏名			

年度	30年度	年度	年度	年度	年度	年度
学年	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年
学級	2組					
通級指導教室 担当者氏名	いずみ（言） 美濃 花子	通級教室名と担当者名を入れる				
校長氏名	岐阜 太郎	校長先生名の記入。年度末に押印				
認印						
記入者氏名	中濃 次郎	記載者の記入。年度初め、年度末に押印。				
認印						
支援内容に関する 保護者の同意印						
引き継ぎに関する 保護者の同意印						

年度	年度	年度	年度
学年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
学級			
通級指導教室 担当者氏名			
校長氏名			
認印			
記入者氏名			
認印			
支援内容に関する 保護者の同意印			
引き継ぎに関する 保護者の同意印			

No.1 個別の教育支援計画(プロフィール・就学前の記録・行動の特徴)

小学校用

作成年月日(年 月 日) 最終修正日(年 月 日)

氏 名			家族構成		
療育手帳	無 ・ 有 等級 () 取得日 () 次回更新予定日 ()				
身障者手帳等	無 ・ 有 (級) 取得日 () 次回更新予定日 ()				
診断名 (服薬等)					
	発達の様子や気になったこと・行動の特徴		主にかかった医療機関・療育機関		
就 学 前 の 記 録			機関名称	主な内容	
就 学 後 の 記 録	【1年生】				
	【2年生】				
	【3年生】				
	【4年生】				
	【5年生】				
	【6年生】				

No.1 個別の教育支援計画(プロフィール・就学前の記録・行動の特徴)

中学校用

作成年月日(年 月 日) 最終修正日(年 月 日)

氏 名			家族構成		
療育手帳	無 ・ 有 等級 () 取得日 () 次回更新予定日 ()				
身障者手帳等	無 ・ 有 (級) 取得日 () 次回更新予定日 ()				
診断名 (服薬等)					
支 援 の 記 録 (中学校)			主にかかった医療機関・療育機関		
			機関名称	主な内容	
【1年生】					
【2年生】					
【3年生】					

No.1 個別の教育支援計画(プロフィール・就学前の記録・行動の特徴)

作成年月日(年 月 日) 最終修正日(年 月 日)

氏 名	記入例	家族構成	
療育手帳	無 ・ (有) 等級(○○) 取得日() 次回更新予定日()		
身障者手帳等	(無) ・ 有 (聴覚障害 ○級) 取得日() 次回更新予定日()		
診断名 (服薬等)	広汎性発達障がい		
	発達の様子や気になったこと・行動の特徴	主にかかった医療機関・療育機関	
就 学 前 の 記 録	【出生時】 ・低体重で生まれる。 【保育園・幼稚園】 ・サ行がうまく言えない。常に舌が出ている。 ・困っていることをうまく伝えることができない。 ・一斉指示での理解が難しく、個別支援が必要。 保護者から聞き取ったことやサポートブックから記入する。保護者の同意なく、保育園からの引き継ぎは書かない。	機関名称 平成28年度～ ○○園通園	主な内容 ・構音指導を受ける ・平成28年8月 新版K式発達検査 全DQ 姿勢・運動 認知適応 言語・社会
	【1年生】 ・言語通級を行う。 ・一斉指示での理解が難しく、個別支援の方が有効であった。保護者の同意を得て、言語通級以外に一部別室での指導を行った。	・○○特別支援学校の訪問支援を受ける。 ・○○病院(Dr) 受診 ・中濃子どもセンター	・学習の理解、定着に困難が見られるため、個別支援が有効であると助言を受ける。 ・軽度発達遅滞と診断 ・田中ビネー式知能検査 IQ
就 学 後 の 記 録	【2年生】 ・知的障がい特別支援学級に入級。国語、算数、図工、道徳、学活、生活単元学習を知的障がい特別支援学級で行う。生活科、音楽、体育は交流学級で行う。 ・週1回言語通級も行う。 学年ごとに追加していく。このシートは毎年作成。前年度のものは破棄し、新しいものに毎年差し替える。	発達検査を受けたり、医療機関を受診したりしたときには、追加記入していく。	

No.2 個別の教育支援計画(短期目標)

作成年月(平成 年 月)加筆(平成 年 月)

氏名		学年	年	学級		担任	
通級指導の記録	言語通級 LD/ADHD 等通級 通級指導なし						
本人の願い							
保護者の願い							
	実 態	願う姿と指導方針		有効だった手立てや引継ぎ事項 合理的配慮(番号も記入)			
学習面 (学習状況、学習スタイル、知識・学力)など		<願う姿> <指導方針>					
集団 適応面 (人間関係、情緒の安定、生活習慣・行動)など		<願う姿> <指導方針>					
生活・ 進路面 (身辺自立、興味・関心、夢・希望)など		<願う姿> <指導方針>					
健康面 (健康状況、身体的特徴、運動能力)など		<願う姿> <指導方針>					

No.2 個別の教育支援計画(短期目標)

通常の学級用

作成年月(平成 年 月)加筆(平成 年 月)

氏名		学年	年	学級		担任	
通級指導の記録	言語通級 LD・ADHD 等通級 通級指導なし						
本人の願い							
保護者の願い							
	実 態	願う姿と指導方針			有効だった手立てや引継ぎ事項 合理的配慮(番号も記入)		
学習面 (学習状況、学習スタイル、知識・学力)など 集団 適応面 (人間関係、情緒の安定、生活習慣・行動)など 生活・ 進路面 (身近自立、興味・関心、夢・希望)など 健康面 (健康状況、身体的特徴、運動能力)など	・ ・ ・ ・	<願う姿> <指導方針>			・ ・ ・ ・		

No.2 個別の教育支援計画(短期目標) 作成年月(平成29年5月) 加筆(平成30年3月)

氏名	記入例	学級	3年	学級	1組	担任	山田 一郎
通級指導の記録	言語通級	LD・ADHD等通級			通級指導なし		
本人の願い	・漢字が書けるようになりたい。友達と仲良くしたい。 本人や保護者から聞き取り、年度当初に記入。ここに進路希望を書いてもよい						
保護者の願い	・基礎学力を身に付けてほしい。自分の気持ちを表現						
	実 態	願う姿と指導方針			有効だった手立てや引継ぎ事項 合理的配慮(番号も記入)		
学習面 (学習状況、学習スタイル、知識・学力など)	・どの教科でも積極的に発言できるが、漢字の習得を苦手としている。 ・板書を書くことが苦手で、写すのに時間がかかる。 できていることや特性から来る困り感を書く。苦手なことばかりを書かない。	<願う姿> ・当該学年の漢字が習得できる。 ・板書を写す時には、大切な言葉は確実に写すことができる。 <指導方針> ・新出漢字の練習の時に意味づけて覚えられるように、工夫して教える。 ・板書を写す量を絞る。			・漢字ノートは、マス目の大きいものを使用し、回数よりも丁寧に書くことを重視することにより、少しずつ漢字が定着してきた。①-1-1 ・算数の問題は、写さなくてもよいように、プリントして渡した。①-1-2 合理的配慮については番号を記入(別紙参照)		
集団 適応面 (人間関係、情緒の安定、生活習慣・行動など)	・仲の良い友達と元気に外で遊ぶことができるが、気持ちを表現することが苦手で、友達とトラブルがあった時に黙ってしまうことがある。 実態、願う姿と指導方針は年度当初に記入し、保護者の印をもらう。実態、願う姿と指導方針、有効だった手立て等は、対応するように記載する。下記の生活面のように点線で分けるなどの工夫をしてもよい。	<願う姿> ・自分の気持ちを相手に伝えることができる。 <指導方針>			・落ち着いた環境で丁寧に気持ちを聞くようにした。①-2-3 ・気持ちを示すカードを使うことにより、自分の気持ちを少しずつ表現できるようになってきた。①-2-1		
生活・ 進路面 (身辺自立、興味・関心、夢・希望など)	・係活動に意欲的に取り組むことができる。 ・机の中に学習用具が乱雑に詰め込まれており、すぐに準備をすることができない。	<願う姿> ・場に応じた活動ができる。 <指導方針> ・係活動の振り返りの場を位置付ける。 <願う姿> ・ロッカーや机の中を整頓し、学習にスムーズに取り組める。 <指導方針> ・整頓の仕方を視覚的に分かるようにし、整頓を見届ける。			この欄は、年度末に加筆し、保護者に印をもらう。 ・整頓の仕方が分かるカードを活用することにより、自分で整頓できるようになった。①-2-1		
健康面 (健康状況、身体的特徴、運動能力など)	・走る事が好きで、リレーの選手に選ばれることもある。その反面、なわとびなどの苦手な種目には、途中であきらめて取り組まなくなってしまうことがある。 ・はさみで紙を切ったり、コンパスで円をかいいたりすることが苦手である。	<願う姿> ・苦手な作業や運動にもあきらめずに、粘り強く取り組むことができる。 <指導方針> ・なわとびのめあてを持たせ、できるようになったことを認めていく。 ・はさみやコンパスの使い方を丁寧に教え、見届ける。			・なわとびは本人と相談し、めあてを持たせ、できるようになったことをみんなの前で価値づけることで、意欲的に取り組めるようになった。①-2-3 ・コンパスを使う時には、ノートの下に厚紙を引かせ、コツを示したカードを使うことで、スムーズに円がかけられるようになった。①-2-1		